

# 人材不足時代におけるDXの進め方

## ～能登半島地震からの教訓とAI活用事例～

「デジタル田園都市国家構想」により地域や社会のDX化が少しずつ進行していましたが、能登半島地震を通じて様々な課題が明らかになりました。

さらに、社会や企業における人材不足が進行する中で、多様化する課題解決に対応するシステムの導入が必要とされています。

本セミナーでは、国内の技術・政策動向に加え、クラウドを活用したDXや、AIを利用した事例を紹介します。



## Digitalization



日時 2025年 **1月29日(水)** 14:00～16:30

会場 Zoomを利用したオンライン配信

対象 **ものづくりに携わる企業・個人事業主、  
研究開発機関、行政機関等の方**

参加費  
無料



申込みはこちら

政府系の政策動向とJAISTにおけるDXに関連する人材育成サポート活動について

第1部

講師：島田 淳一 氏

(国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学 (JAIST)先端科学技術研究科  
トランスフォーマティブ 知識経営研究領域 教授)

国内の技術・政策動向を紹介するとともに、JAISTデジタル化支援センターにおいて実施している企業や自治体のデジタル化のための人材育成サポート活動を紹介します。

震災で見た使えるDX、使えないDX

第2部

講師：野水 克也 氏

(公益財団法人ほくりくみらい基金 理事)

輪島市で被災し避難した後、クラウドを使った災害支援チームとして県、市町、民間の様々な情報統制での支援を行いました。当初想定したものと全く違う現場の実情と今回は準備できなかったが次は実装したいDXも含め紹介します。

だれでも使えるAI検査で検査に付加価値を～ノーコードAIでモノづくりのDX化を加速～

第3部

講師：中屋 健二 氏

(株式会社石川コンピュータ・センター  
クラウドビジネス本部 スペシャリスト)

人手不足が叫ばれる昨今、AIを使った外観検査による省人化が注目されています。本セミナーでは、「外観検査」における課題の解決と、AIを用いた持続可能な検査装置を内製できる仕組みを事例を交えて紹介します。

課題解決につながるAIシステム導入について

第4部

講師：松村 幸村 氏

(創屋株式会社 取締役)

企業が抱える課題を解決するため、創屋が手掛けたAIシステム導入の具体的な事例を紹介し、成功に導くためのポイントとAI活用の効果を詳しく解説します。

## 講師プロフィール

### 島田 淳一 (しまだ じゅんいち) 氏

国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学(JAIST)  
先端科学技術研究科 トランスフォーマティブ知識経営研究領域 教授

1993年郵政省(現総務省)入省。情報通信技術政策の立案、研究開発プロジェクトの遂行、情報通信研究機構における経営企画などを経験し、2023年北陸先端科学技術大学院大学情報環境・DX統括本部特任教授。2024年11月より現職。

### 野水 克也 (のみず かつや) 氏

公益財団法人ほくりくみらい基金 理事

大学卒業後、テレビカメラマン、ディレクター、建築設備設計を経てサイボウズに入社、製品責任者やマーケティング部長、クラウド事業責任者を歴任後、社会課題解決でのIT活用に取り組む。現在は輪島市在住、2023年よりほくりくみらい基金理事

### 中屋 健二 (なかや けんじ) 氏

株式会社石川コンピュータ・センター クラウドビジネス本部 スペシャリスト

大学卒業後、システムベンダーにて設計開発に従事。現在、株式会社石川コンピュータ・センターの新技术チーム(Tech Lab)リーダーとして、AIやIoTを活用した多様なサービスの提案や導入支援を行い、企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進している。

### 松村 幸村 (まつむら ゆきむら) 氏

創屋株式会社 取締役

石川工業高等専門学校 電子情報工学科を卒業後、創屋株式会社に入社。顧客の課題解決を目指した業務システムの開発や、AI開発のPoC、AIを活用したシステム開発に従事。常に新しい技術への挑戦とその取り入れを大切にしている。

※お申込みいただいた方には、今後、金沢市からセミナー等のご案内を差し上げる場合がございます。

- 申込方法 : ①「金沢市電子申請サービス」を利用したオンライン申請  
②E-mailによる申請
- 申込先 : 金沢市産学連携事業運営委員会事務局  
金沢市商工労働課 担当 中上  
TEL:076-220-2205  
E-mail:igyousyu@city.kanazawa.lg.jp
- 申込締切 : 令和7年1月24日(金)